

大津 エンパワ ねっと通信



龍谷大学「大津エンパワねっと」は学生と地域が協働してまちづくりに取り組むプログラムです。
since 2007
〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5
龍谷大学瀬田キャンパス内 大津エンパワねっと(2-202教室)
TEL:077-543-7691 FAX:077-543-7615
E-mail: shakaigp@ad.ryukoku.ac.jp
HP: http://www.soc.ryukoku.ac.jp/gp/index.html

TOPICS

第4期生 地域エンパワねっと! 取り組み途中経過 STEP 2 見つける

エンパワ4期生、地域に出向いています

「地域エンパワねっと!」では、10月中旬に問題意識が似ている者同士でチームを結成しました。その後、実際に地域に出て、地域の方にご協力いただきながら、問題意識を絞りこみました。現在、次のようなテーマで取り組みを進めています。

瀬田 東

S01 子どもから大人へ、そして地域のつながりを深める

月輪自治会における地域のつながりがより深まるように、子どもから大人へと交流の輪が広がることを目指して、子ども中心のイベントの企画段階から参画していきます。

S02 子ども中心に地域交流を深める

歴史の新しいローズベイガーデン自治会で、この地域の課題を発見するとともに、地域特性に応じた地域交流のあり方を考えていきます。

S03 子どもに地元への愛着を持ってもらおう!

～地元での思い出作り～

子どもたちが将来、地域に貢献できる人材となるよう、自然とのふれあいを通して、子どもたちに地元への愛着を持ってもらいたいと考え、青少年育成学区民会議との協働を深めつつ活動していきます。

S04 龍大生と地域の交流促進

地域の方や学生から聞き取り調査を実施。共通の切り口である「スポーツ」を通してテーマを深めようと活動しています。

S05 地域と40～60代男性のつながりづくり

地域との接点が少ない方々のつながりづくりとして、男性の地域デビューに焦点をあてて調査しています。

S06 高齢者が家の外で楽しく集える場

サロン活動に参加したり、地域包括支援センターの方からお話を聞いて、高齢者の方が集まるインフォーマルな場についても探っています。



中央

C01 学生目線で再発見! 中央の魅力共有しよう

もっと地元を好きになってもらえるよう、実際に学生目線で広報活動に携わりながらテーマを深めています。

C02 まちづくりへの想いを共有し隊!

町を活性化しようとしている団体の、みなさんの「大津への想い」を共有できないか。調査活動しています。

C03 商店街に人の流れをつくる

町で行われている様々な活動の関係性を、点→線→面へとデザインし、普段から賑わいのある商店街にできないかと考え、活動しています。

C04 子どもと高齢者の交流の場をつくる

町で子どもと高齢者が声をかけ合うような交流を継続するにはどうすればいいか。各種イベントでお話を伺いながら調査しています。

※エンパワ4期生...今年度後期から「地域エンパワねっとI・II」に取り組んでいる学生たちです。

TOPICS

大学と地域をつなぐ特別講義!

2011年度「大学と地域をつなぐ特別講義I」を開講しました

「大学と地域をつなぐ特別講義」とは、大津市の各分野で活躍されている方々をお招きして社会学部4学科の授業で講義していただくというものです。2年生後期からの「地域エンパワねっとI・II」へ向けての事前学習授業です。講義のテーマは歴史、産業、子育て、福祉などさまざまですが、すべて「大津市」についての学習です。

大津市で今、起きている福祉問題

第1回 2011.11.7



何日も食事をしていないホームレス、ゴミ屋敷の問題、無縁死する人...穏やかそうに見えるこの大津市にも様々な問題が起きている!

講師の山口浩次さん(大津市社会福祉協議会)から、実際の映像を見せていただきながらお話を伺いました。こうした相談に社会福祉の専門職としてどのように対応するのか、また、こうした人々への支援に「地域」の方々の存在がいかに重要かということも学びました。そして、どうすれば地域の方々の「スイッチをいれること」(エンパワメント)ができるのか、学生も多めに考えさせられたことと思います。

第2回 2011.11.10

子育て支援について学ぶ

～子育て環境を理解し、みんなが子育ての応援隊に～



講師の青山和美さん(大津市子育て総合支援センター)からは、現代の子育ての現状と「子育て総合支援センターゆめっこ」が果たしている役割をわかりやすく説明していただきました。

核家族化が進行する中で、孤立した子育てを強いられ、不安や悩みを抱えている母親が増えている現実があります。子育て中のお母さんが安心して子育てを楽しめる地域づくりが必要であることをお話ししていただきました。最後は恒例の絵本タイム。『しゅくだい』という絵本です。心に染み入る内容で青山先生の声でした。

大津、その街と企業を知る

第3回 2011.11.21



大津という街の姿を商業や産業の観点からつかんでもらおうと、大津商工会議所でまちおこしや中小企業活性化の仕事に取り組んでおられる徳永啓次さんと西村綾子さんをお招きしました。

徳永さんには今年度初めて取り組んだ「百円商店街」のプロジェクトを中心に、中心市街地の商店街の活性化について、西村さんには大津で活躍するユニークな地域企業の存在とその活動をつなぐ情報ネットワークについてお話いただきました。百円商店街のことを知った学生たちは、小さな工夫が大きな成果を生むことの醍醐味を感じ取っていたようでした。

第4.5回 2011.12.6 12.13

大津ってどんなところ?

～近現代のあゆみから～

大津市歴史博物館学芸員の木津勝さんから、「大津ってどんなところ?」というお話をしていただきました。

古写真を使いながらのお話は、大津という町がこの百数十年でどのように変わってきたのかが具体的にわかるものでした。



浜大津のにぎわい、江若鉄道、びわこ号、瀬田駅開業...。それらを写した古写真は、受講生にとっては「!」なものばかりのようでした。

その後、担当教員と木津先生とで「地域で学ぶ」「地域から学ぶ」ということを考えました。多くの話題が出たのですが、どれも「地域には!」があふれている。それを学んで大きく成長しよう!というものにつながっていきました。

じゅずつなぎ COLUMN



第6回 授業担当の筒井のり子先生(社会学部 地域福祉学科)

私の「どうして」攻撃に反撃するため、学生は悩みしかし確実に成長していく。

“どうして”攻撃

私の幼少時の口癖は「ねえ、どうして? どうして、そうなの?」だったそう。親バカな両親は「この子は弁護士に向いている」などと話し合っていたとか...。実は、今もこの口癖は少し残っている。特に「エンパワねっと」に取り組む学生の前で頻りに登場する。「ねえ、どうしてそのテーマにしようと思ったの?」「どうして、そのアンケートをするの?」。

次回は...

龍谷大学 社会学部3年 大津エンパワねっと3期生

12.2012 1月

スケジュール・お知らせ

- 12月12日(月): 大津エンパワねっとを進める会(瀬田東)
- 12月14日(水): 大津エンパワねっと推進委員(学内)
- 12月16日(金): 大津エンパワねっとを進める会(中央)
- ① 6日(金): 地域エンパワねっと! 全体授業
- ① 22日(日): 地域エンパワねっと! 報告会 午前開催(大津市ふれあいプラザにて)